

公衆衛生事業部 活動報告

公衆衛生事業部研修会

✿実施日：令和6年11月23日(土) 13:00~16:00

✿会場：新潟ユニゾンプラザ 女性団体交流室 I (集合開催)

✿参加者数：23名 (内訳:県・保健所 5名、市町村 18名)

✿内容：(1)講義「誰一人取り残さない栄養施策の推進に向けて」

講師 南魚沼振興局健康福祉環境部地域保健課 課長代理 磯部澄枝 氏

(2)取組報告「自治体における人材育成の取組事例」

報告者①三条地域振興局健康福祉環境部地域保健課 課長代理 波田野智穂 氏

②三条市福祉保健部健康づくり課 主査 大泉千裕 氏

③上越市健康福祉部健康づくり推進課 上席栄養士長 大石浩士 氏

(3)情報交換・全体討議

✿アンケート結果 (回答数 23名、一部抜粋)

(1)講義について

○行政栄養士としての目指す姿がわかった

- ・国の施策と研究班の取組のつながりなどがよく分かり、将来に向けてやるべきことを理解できた。
- ・公衆衛生専門管理栄養士の研修プログラムなどについて、具体的に知ることができた。

○人材育成の重要性について改めて理解した

- ・組織としての人材育成が大事だということを改めて実感した。
- ・今後進めるべき人材育成の方向性を知ることができた。

(2)取組報告について

○他の市町村の取組が参考になった

- ・それぞれの市町村の現状がわかり、自分の市町村と照らし合わせて考えることができた。
- ・他の市町村の取組を聞いて共感できるものが多かったし、参考にしたいものが多かった。
- ・自治体の現状やかかえている課題を知り、同じように悩んでいるということがわかった。協力して体制づくりができたと思う。

○市町村においてもキャリアラダーが必要だと感じた

- ・栄養士業務連絡会の内容の参考にしたいと思った。
- ・上越市さんのガイドラインを参考に、当市も検討したいと思った。

参加者全員が“理解できた”“概ね理解できた”と回答

参加者全員が“参考になった”“概ね参考になった”と回答

行政栄養士の人材育成に関する最新の情報や、キャリアビジョンを描くことの重要性、到達目標のイメージを考えることができました。また、地域機関や市町村における先駆的な人材育成の取組について知る機会となり、今後の業務に活かせる内容の多い、充実した研修会となりました。

